

2002年3月18日

主催 (財) 水野スポーツ振興会

共催 (財) 日本体育協会

(財) 日本オリンピック委員会

## “2001年度 ミズノ スポーツメントール賞” 受賞者決定

(財) 水野スポーツ振興会では、(財) 日本体育協会、(財) 日本オリンピック委員会と共催で、1990年度より「ミズノ スポーツメントール賞」を制定しています。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月15日、高輪プリンスホテルで2001年度選考委員会を開き、受賞者を以下の通り決定いたしました。

### 【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】 (トロフィー、副賞200万円)

富山英明氏 (日本レスリング協会強化委員長)

### 【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】 (トロフィー、副賞各50万円)

鈴木 秀夫氏 (日本陸上競技連盟強化委員会女子長距離マラソン部委員)

日蔭 暢年氏 (全日本柔道連盟女子ナショナルチームコーチ)

田中 偉晃氏 (京都府・京都府スポーツ少年団副本部長)

### 【ミズノ スポーツメントール賞】 (トロフィー、副賞各20万円、うちスポーツ券10万円)

瀧井 敏郎氏 (東京学芸大学サッカー部監督)

井 薫氏 (日本ハンドボール協会 元女子ナショナルチーム監督)

鈴木 司氏 (駒澤大学附属苫小牧高校アイスホッケー部監督)

花田 徹夫氏 (北海道・北海道バレーボール協会副会長)

竹内 伸也氏 (愛知県・愛知県陸上競技協会副会長)

小比賀 忠和氏 (大阪府・大阪府バレーボール協会理事長)

横瀬 昭幸氏 (長崎県・長崎県体育協会スポーツ医・科学委員長)

知念 義雄氏 (沖縄県・沖縄県体操協会理事長)

詳細は別記の通りです。

(お問合せ先)

(財) 水野スポーツ振興会

ミズノ 広報室

ミズノ 大阪 広報室

事務局 内橋 TEL. 03 (3233) 7009

小西・木水 TEL. 03 (3233) 7037

高橋・薬師寺 TEL. 06 (6614) 8373

## 記

名 称 : 2001年度 ミズノ スポーツメントール賞

目的及び  
選考基準 : 過去継続して我が国における優秀選手の育成に務めた指導者およびその周辺の  
指導者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の  
顕彰

選考委員 : 委員長 竹 田 恆 和 氏 (JOC会長)  
委員 長 沼 健 氏 ((財)日本体育協会副会長)  
" 豊 田 博 氏 ((財)日本体育協会常務理事)  
" 日比野 弘 氏 ((財)日本体育協会常務理事)  
" 松 永 怜 一 氏 ((財)日本オリンピック委員会常務理事)  
" 田 中 英 寿 氏 ((財)日本オリンピック委員会理事)  
" 水 野 正 人 氏 ((財)水野スポーツ振興会会長 ミズノ社長)  
※順不同

対 象 者 : 国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び

選考理由 : **富山 英明 (とみやまひであき) 氏(日本レスリング協会強化委員長) 44 歳**  
大学卒業後、母校日本大学レスリング部のコーチとして後進の指導に携わるとともに  
競技生活を続け、昭和 59 年にロサンゼルスで開催された第 23 回オリンピック競技大  
会フリー57 kg級における金メダル獲得等輝かしい実績を築いている。競技生活終了後  
は指導に専念し世界トップレベルの選手を数多く育成している。昭和 63 年にソウル  
での第 24 回オリンピック競技大会ではマンツーマン体制による指導により小林孝至  
選手をフリー48 kg級金メダルに導いている。また、女子レスリング日本代表の山本聖  
子選手の指導にも携わり平成 11, 12, 13 年の世界選手権大会 56 kg級 3 連覇達成に大き  
く貢献している。競技実績に基づく卓越した指導力は高く評価されており、これから  
先も日本レスリング界の中心的指導者としての活躍が期待されている。  
(東京都在住)

### ※指導している主な選手・チーム

小林孝至 第 24 回オリンピック競技大会(ソウル) フリー48 kg級 第 1 位 他  
赤石光生 第 25 回オリンピック競技大会(バルセロナ) フリー68 kg級 第 3 位 他  
山本聖子 '99, '00, '01 世界選手権大会 56 kg級第 1 位 他

### 鈴木 秀夫 (すずきひでお) 氏

(日本陸上競技連盟強化委員会女子長距離マラソン部委員) 39 歳

大学卒業後、公立高校教諭として陸上競技部の指導にあたり、平成元年、同 4 年の  
全国高校女子駅伝では市立船橋高校を見事優勝に導いている。その後、実業団女子陸  
上競技チームの監督に就任、国内トップレベルの選手の育成に携わり、平成 12 年  
には第 20 回全日本実業団対抗女子駅伝大会においてチームを初優勝に導く。平成 13 年  
にはカナダ・エドモントンで開催された第 8 回世界陸上競技選手権大会女子マラソン  
において土佐礼子選手を第 2 位、渋井陽子選手を第 4 位入賞に導くなど、輝かしい実  
績を収めている。また、同年の第 21 回全日本実業団対抗女子駅伝大会においては再  
びチームを優勝に導き、見事大会連覇の快挙を達成する等、日本女子陸上界の競技力  
の向上に大きく貢献しており、指導者としての手腕は高く評価される場所である。

### ※指導している主な選手・チーム

土佐礼子 第8回世界陸上競技選手権大会女子マラソン 第2位  
渋井陽子 第8回世界陸上競技選手権大会女子マラソン 第4位  
三井住友海上火災 第20,21回全日本実業団対抗女子駅伝大会 第1位

#### **日蔭 暢年（ひかげのぶとし）氏**

**(全日本柔道連盟女子ナショナルチームコーチ) 45歳**

昭和58年モスクワ、昭和60年ソウル両世界選手権大会男子78kg級において優勝、2連覇を達成した他、国内外の各大会において数々の優勝を飾るという競技実績に基づき後進を指導、平成12年からは全日本柔道連盟女子強化コーチとして国際試合に向けた選手の強化・育成に携わっている。持ち前である根気強さと木目細やかな指導により平成13年にミュンヘンで開催された世界柔道選手権大会では、阿武教子選手の子78kg級優勝、3連覇の達成に大きく貢献。競技実績に基づく論理的な指導力は高く評価されており、日本柔道界の中心的指導者としての活躍が期待されている。

(大阪府在住)

### ※指導している主な選手・チーム

阿武教子 '01世界選手権大会 女子78kg級 優勝 他  
山下まゆみ 第3回東アジア競技大会(大阪) 女子無差別級 第2位 他  
薪谷 翠 第3回東アジア競技大会(大阪) 女子78kg超級 第3位 他

#### **田中 偉晃（たなかひであき）氏（京都府スポーツ少年団副本部長）63歳**

早くから、少年スポーツの重要性に着目し、スポーツ少年団活動の先駆者として活躍した。また、サッカーのみならず他の競技種目の振興にも寄与し、今日の府スポーツ隆盛の基盤を築くとともに後進の範となっている。単位団の代表指導者でもあるが、京都市、京都府、そして日本スポーツ少年団の要職に就き、その幅広い知見をもって指導に努め、府スポーツ少年団の評価を高めた。

誠実な人柄に加えて、熱意ある指導性は、単に、スポーツ少年団関係者のみならず、大学スポーツの監督・指導者としても、敬愛の念をもって受けとめられている。

(京都府在住)

#### **瀧井 敏郎（たきいとしろう）氏（東京学芸大学サッカー部監督）48歳**

大学卒業後、大学院にてコーチ学を専攻後はコーチ学を実践すべく大学サッカー部の指導に携わる。世界各国がサッカー競技の強化に取り組み競技水準が向上する中、平成13年には北京で開催された第21回ユニバーシアード競技大会男子日本代表チームの監督として大会に臨み、日本国外で開催された世界大会初の優勝という実績を残している。北京ユニバー大会に向けて平成11年度より強化体制を築き綿密に立案した計画のもと積極的に強化を推し進め、チームの競技力の向上に大きく貢献した指導者としてのその手腕は高く評価される所である。(東京都在住)

### ※指導している主な選手・チーム

第21回ユニバーシアード競技大会(北京)男子日本代表チーム 第1位  
第3回東アジア競技大会(大阪)男子日本代表チーム 第1位  
※石川竜也(現鹿島アントラーズ), 太田恵介(現アビスパ福岡)

**井 薫 (いいかおる) 氏**

(日本ハンドボール協会 元女子ナショナルチーム監督) 63歳

大学卒業後、熊本大洋デパート、山鹿立石電気(現オムロン熊本)女子ハンドボール部の監督としてチームを率い、全日本総合選手権、全日本実業団選手権、日本リーグ、国体等で数多くの全国制覇を達成、女子チーム指導者の第一人者として高く評価されている。これらの指導実績から女子ナショナルチームの監督に就任、昭和51年にモントリオールで開催された第21回オリンピック競技大会ではチームを第5位入賞に導いている。その後、日本ハンドボール協会強化担当常務理事、アジアハンドボール連盟競技組織委員として組織・強化体制の基盤作りに尽力するとともに、平成9年には熊本市で開催された第15回世界選手権大会の運営等にも携わり大会を成功に導く等、日本ハンドボール界の発展に大きく貢献している。(熊本県在住)

※指導している主な選手・チーム

日本女子代表チーム 第21回オリンピック競技大会(モントリオール) 第5位

※蔵田照美(立石電気/大会得点王)

**鈴木 司 (すずきつかさ) 氏**

(駒澤大学附属苫小牧高校アイスホッケー部監督) 39歳

駒澤大学附属苫小牧高校教諭の傍ら同校アイスホッケー部コーチに就任し指導に携わる。平成3年からは監督としてチームの強化育成に取り組み、現在インターハイ9連覇という偉業を達成。平成10年に長野で開催された第18回オリンピック冬季競技大会や世界選手権大会の日本代表選手を数多く育成するとともに、日本アイスホッケーリーグ各チームに優秀な選手を輩出する等指導者としての手腕は高く評価される。(北海道在住)

※指導している主な選手・チーム

桜井邦彦(王子製紙/長野オリンピック代表, 世界選手権3回出場)

川口 寛(コクド/長野オリンピック代表, 世界選手権5回, ユニバー3回出場)

鈴木貴人(コクド/世界選手権4回, ユニバー3回出場)

小林友人(西武/世界選手権2回, 世界Jr選手権1回出場)

今 洋祐(西武/世界選手権1回, ユニバー2回出場)

**花田 徹夫 (はなだてつお) 氏 (北海道バレーボール協会副会長) 68歳**

昭和31年北海道広尾高等学校に勤務以来、高等学校で21年間、昭和52年から武蔵女子短期大学で25年にわたって生徒及び学生にバレーボールを指導する傍ら、平成7年から北海道バレーボール協会理事長、11年からは同協会副会長として、バレーボール競技の普及振興と競技力向上に長年にわたり尽力している。また、平成9年より、北海道体育協会理事として、組織の充実と生涯スポーツの振興に取り組むとともに、北海道スポーツ指導者協議会会長として、各種研修会等を企画運営し道内の指導者の育成と資質向上に尽力している。さらに平成10年~2年間は、北海道スポーツ振興審議会臨時委員として、全道的立場で生涯教育とスポーツ振興に貢献している。(北海道在住)

**竹内 伸也（たけうちしんや）氏（愛知県陸上競技協会副会長）70歳**

永年にわたり、陸上競技の指導者として選手を育てる傍ら、愛知県陸上競技協会の選手強化委員長として陸上競技の競技力向上に努め、国民体育大会を始めとして愛知県のスポーツ振興に貢献している。また、陸上長距離では中国の競技者を引き受け、指導実績をあげ、名古屋国際マラソンやアジア大会のマラソンにおける優秀選手を育てる等、国際的にも活躍している。更に愛知県体育協会では、理事、競技力向上委員長を務め、自ら研修会を立案し、県体協副会長としても愛知県のスポーツ全般の発展に尽力している。なお、最近では北京国際女子駅伝の日本選手団監督として優勝に導など昭和39年の東京オリンピックコーチから現在なお第1線の指導者として活躍し、多くの指導者の模範となっている。（愛知県在住）

**小比賀 忠和（おびかただかず）氏（大阪府バレーボール協会理事長）68歳**

(財)日本バレーボール協会公認名誉審判員、B級スポーツ指導員の資格を持ち、近畿バレーボール連盟、近畿実業団バレーボール連盟理事として活躍し、大阪府内のみならず近畿地区のバレーボールの普及発展に貢献した。

大阪府においては、大阪府バレーボール協会理事長という立場にあり、各種大会運営・競技力向上・普及活動等各方面に活躍し、その豊かな経験と卓越した手腕は、関係者から大きな信頼が寄せられている。

また、平成8年～12年まで(財)大阪府レクリエーション協会専務理事、昭和63年～現在まで(財)大阪体育協会・常務理事として、バレーボールのみならずレクリエーションスポーツなど生涯スポーツ等の普及振興に寄与し、その功績は高く評価されている。現在、大阪府立門真スポーツセンターに勤務し、総合型地域スポーツクラブ育成事業のチーフとして生涯スポーツ社会の実現に向け尽力している。（大阪府在住）

**横瀬 昭幸（よこせてるゆき）氏**

**（長崎県体育協会スポーツ医・科学委員長）63歳**

スポーツドクター協議会会長、スポーツ医・科学委員長として、国体選手の医・科学サポート、国体帯同ドクターの派遣、その他各種研修会等の講師として、県内のスポーツ医・科学の分野における中心的役割を果たしている。また、長崎県立総合体育館で実施している「体力総合診断（メディカルチェック）」、「国体選手のメディカルチェック」等においては、担当ドクターとして、選手のコンディションづくりにあたり、競技力向上にも寄与している。

さらに、サッカーを始めとするジュニアの全国的な活躍の陰には、練習会場に出向いて選手の立場に立っての的確な指導・助言を行うなど、その献身的な指導力は、他のスポーツドクターの模範として高い評価を得ている。（長崎県在住）

**知念 義雄（ちねんよしお）氏（沖縄県体操協会理事長）60歳**

大学卒業後、体操競技指導を目指して興南高校に勤務し、体操部を創設した。屋内の体操場や用器具のない中、指導に励み、昭和47、49年に全国高等学校総合体育大会で男子3位、2位の上位入賞を果たし、昭和49年第29回国民体育大会では、団体3位に導いた。昭和57年の高校総体では種目別優勝者を出すなどの活躍があり、昭和40年から連続36回出場に貢献した。

また、昭和62年の第42回国民体育大会で団体1位を獲得したメンバーは、興南高校出身者と在校生であり、沖縄県の総合優勝に大きく貢献した。現在は沖縄県体操協会、九州体操協会の理事長を務めながら、沖縄県体操競技選手の指導に尽力しており、興南高校を拠点として強化練習に励んでいる県内の小学生は、九州小学生体操大会で女子4年連続優勝、男子3年連続2位、男子は、昨年の大会で初優勝を遂げるなど、沖縄県スポーツ振興に大きく貢献している。（沖縄県在住）

## 「スポーツメントール賞」過去の受賞者

### ●第1回（'90年度）

- ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
金子 正子 氏（シンクロナイズド・スイミング）
- ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
長田 照正 氏（スピードスケート）  
鈴木 昭 氏（山形県）
- ミズノ スポーツメントール賞  
菊池 淳二 氏（青森県）  
石田 時郎 氏（バレーボール）  
恩田 昌史 氏（ホッケー）  
後藤 博志 氏（馬術）  
西田 範次 氏（岩手県）  
大槻 秧司 氏（京都府）  
左海 伸夫 氏（和歌山県）  
大村 一男 氏（大分県）  
飯塚 十朗 氏（アーチェリー）

### ●第2回（'91年度）

- ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
宗 茂 氏（陸上）
- ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
鳥塚 奥見 氏（埼玉県）  
上田 実 氏（バレーボール）
- ミズノ スポーツメントール賞  
上村 春樹 氏（柔道）  
金戸 俊介 氏（飛込）  
木林 博一 氏（ボウリング）  
長沢 宏行 氏（ソフトボール）  
尾谷 良行 氏（山梨県）  
竹内 義雄 氏（体操）  
戸館 福三郎氏（スキー）  
津山 カッコ氏（京都府）  
光田 緑 氏（愛媛県）

### ●第3回（'92年度）

- ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
青木 剛 氏（水泳）  
早坂 毅代司氏・斉藤 智治氏（複合スキー）
- ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
横山 隆義 氏（鳥取県）  
吉村 和郎 氏（柔道）
- ミズノ スポーツメントール賞  
木村 定光 氏（青森県）  
竹内 良昭 氏（京都府）  
楠 征洋 氏（奈良県）  
梶谷 節夫 氏（島根県）

山里 将人 氏 (沖縄県)  
小出 義雄 氏 (陸上)  
菊間 卓 氏 (バレーボール)  
霜 礼次郎氏 (ライフル射撃)

●第4回 ('93年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
垂水区団地スポーツ協会指導者グループ (代表 古田 菊夫氏)  
(兵庫県)

ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
鈴木 従道 氏 (陸上)  
斉藤 敏 氏 (山形県)

ミズノ スポーツメントール賞  
坂井 俊行 氏 (スケート)  
小嶺 忠敏 氏 (サッカー)  
中津 信雄 氏 (スキー)  
森田 淳悟 氏 (バレーボール)  
光国 彰 氏 (テニス)  
大関 堯 氏 (青森県)  
澤田 一夫 氏 (奈良県)  
木村 司 氏 (大阪府)  
広島 日出国氏 (宮崎県)

●第5回 ('94年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
森 清吉 氏 (テニス)

ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
榎原 正宣 氏 (大阪府)  
佐藤 信夫 氏 (スケート)

ミズノ スポーツメントール賞  
金治 義昭 氏 (ソフトテニス)  
鳴子温泉スキー協会指導者群 (代表 菅原 健一氏) (宮城県)  
船原 静江 氏 (なぎなた)  
島立 登志和氏 (山梨県)  
津山 克典 氏 (空手道)  
内山 茂生 氏 (京都府)  
杉谷 昌保 氏 (馬術)  
渡部 正治 氏 (愛媛県)  
中村 祥吉 氏 (ボウリング)

●第6回 ('95年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
小野 学 氏 (スキー)

ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
武田 正男 氏 (兵庫県)  
宮川 千秋 氏 (陸上)

ミズノ スポーツメントール賞  
石黒 建吉 氏 (山梨県)  
松澤 隆司 氏 (サッカー)

松本 充雄 氏 (長野県)  
松山 和興 氏 (ヨット)  
安藤 勝廣 氏 (愛知県)  
西田 守 氏 (バレーボール)  
川本 末夫 氏 (京都府)  
石原 正己 氏 (島根県)

ミズノ スポーツメントール賞 特別賞  
小西酒造硬式野球部指導者グループ (代表 榎本 敏秋 氏) (伊丹市)

●第7回 ('96年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
山下 泰裕 氏 (柔道)

ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
宮城 康次 氏 (東京都)  
上田 幸夫 氏 (レスリング)

ミズノ スポーツメントール賞  
金 哲彦 氏 (陸上競技)  
鴻池 清司 氏 (和歌山県)  
坂井 利郎 氏 (テニス)  
重永 久隆 氏 (クレー射撃)  
瀧田 詔生 氏 (千葉県)  
戸田 三郎 氏 (福井県)  
西方 千春 氏 (スキー)  
福田 潤 氏 (京都府)  
野村 彦忠 氏 (奈良県)

●第8回 ('97年度)

ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
笠谷 昌生 氏 (スキー)

ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
岡田 保雄 氏 (和歌山県)  
山口 彦則 氏 (体操)

ミズノ スポーツメントール賞  
青木 成雄 氏 (長野県)  
井村 雅代 氏 (水泳)  
岩崎 清彦 氏 (大阪府)  
小桜 和裕 氏 (島根県)  
志波 芳則 氏 (サッカー)  
宗 猛 氏 (陸上)  
高須 金吾 氏 (愛知県)  
土佐 三夫 氏 (滋賀県)  
福本 修二 氏 (剣道)  
細川 伸二 氏 (柔道)

●第9回 ('98年度)



- ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
石 幡 忠 雄 氏 (スケート)
- ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
宇佐美 義 光 氏 (愛知県)  
安 田 矩 明 氏 (陸上競技)
- ミズノ スポーツメントール賞  
上 野 広 治 氏 (水泳)  
上 村 義 昌 氏 (鹿児島県)  
菅 野 範 弘 氏 (スキー)  
小 島 一 夫 氏 (バドミントン)  
小傳良 輝 男 氏 (滋賀県)  
下 田 正二郎 氏 (山梨県)  
塚 原 光 男 氏 (体操競技)  
東 美智子 氏 (京都府)  
袈 岩 秀 勝 氏 (大分県)

●第10回（'99年度）

- ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
齊 藤 仁 氏 (柔道)
- ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
阿 部 周 次 氏 (北海道)  
高 橋 雄 介 氏 (水泳)
- ミズノ スポーツメントール賞  
井 上 敦 雄 氏 (東京都)  
篠 原 達 夫 氏 (山梨県)  
魚 住 一 郎 氏 (愛知県)  
本 郷 芳 男 氏 (京都府)  
馬 場 國 義 氏 (熊本県)  
小 浦 武 志 氏 (テニス)  
平 田 倫 敏 氏 (体操)  
竹 野 奉 昭 氏 (ハンドボール)  
吉 田 安 夫 氏 (卓球)

●第11回（'00年度）

- ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド  
櫻 井 孝 次 氏 (陸上競技)
- ミズノ スポーツメントール賞 シルバー  
南 喜 陽 氏 (柔道)  
吉 尾 裕 子 氏 (京都府)
- ミズノ スポーツメントール賞  
竹 村 吉 昭 氏 (水泳)  
五 明 みさ子 氏 (新体操)  
土 方 政 和 氏 (レスリング)  
湊 昭 策 氏 (秋田県)  
大 澤 友 博 氏 (茨城県)  
安 田 憲 正 氏 (石川県)  
山 根 明 氏 (奈良県)  
一 川 治 子 氏 (京都府)